

岐阜県の

プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第57号

新年ごあいさつ・大松理事長

労務改善講習と忘年懇親会を開催

工組から韓国研修親睦旅行団を派遣

関工業団地分譲を受付け

業界ニュース

労務改善コーナー

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより

賀正

昨年12月に開いた忘年懇親会での記念撮影



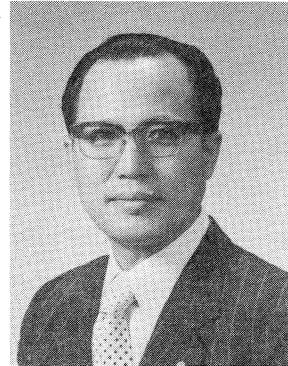
《新年ごあいさつ》

同業者間の協調や提携を

理事長 大松 幸栄

昭和59年の新しい年を迎え、おめでとうございます。
謹しんでお慶びを申し上げます。

昨年は、プラスチック業界としては一般経済に押されて原料調整が行われ、原料高の製品価格の現状維持が辛うじて図られた、という成形加工業界にとっては厳しい年でありました。一方、原料の供給調整も、進行過程の一年間でありました。



大松幸栄理事長

こうした環境の中にあつて、VTRや自動車、コンピューター機器といった好調分野と、一般雑貨、建築土木といった公共投資の分野のような不況分野が入り乱れ、プラスチック加工業界全般としては、横ばい状態か、極少の上昇にとどまるという一般経済と同じ状況の一年度でありました。とくに昨年は、原料の需給調整の進む渦中にあつて、製品へのコストアップが起こり、この消化が完成されずに苦しんだ年といえます。

今年は、原料需給調整が一応の落ち着きを見せることによって、加工業界が安定して来る過程に入る一年になると思われまふ。しかしながら、業界間、同業間での競争は一段とその激しさを加えて来る年でもあると思われまふ。しかも、競争というのは、高度成長の時代とは大きく変化しております。同じような製品の価格競争ではなく、新しいニーズに合った新製品開発競争、加工の技術開発から生まれる製品競争などと、時代変化に対応する競争がますます激化の度を増して来ています。

この競争によって、企業間の格差はさらに大きくなる年であると思ひます。

一方、同業間においては、協調や提携が重要となり、異業種との提携、協調などの変化も起きて来ると思われまふ。さらに今日の経済情勢は、世界的に不安に満ち、世界経済は決して安定路線にあるとは思はず、いつ何時、不測の事態が起きるか判らない状況で、危機に備えた管理も重要であります。

われわれ成形加工業界の行く手には、このような多くの難問が待ち構えておりますが、これを一つ一つ解決し、新年は一層の明るい年になることを期待しようではありませんか。どうか組合員各位のたゆまぬ努力によって、岐阜県のプラスチック産業が発展し、各企業が繁栄して行くことを祈念して、新年のごあいさつといたします。

厳しい業界の近況聞く

労務改善講習と忘年懇親会を開催

大野、武藤両副理事長が講話

当工業組合は12月7日午後5時から、岐阜市内のホテルパークみなと館で『忘年懇親会』を開いた。とくに懇親会に先だち『労務改善指導事業』の一環として、副理事長の大野繁俊さんと武藤昭三さんの二人から30分ずつ講話を聞いた。大野さんは「ポリエチレン・インフレーション業界について」また、武藤さんは「工業部品業界の近況」をテーマに業界の近況を話した。なお、懇親会参加は例年より多く43人にもものぼり、記念撮影の後、懇親を深めた。

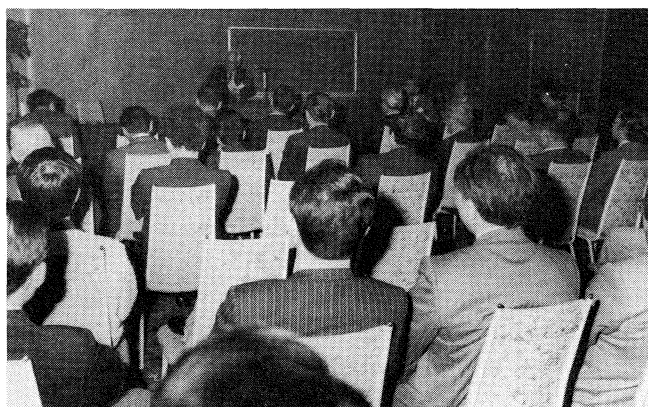
苦境脱出と取り組む ポリオレフィン業界

労務改善事業として実施した講話は、まず大野副理事長（東海ポリエチ工業所社長）が、ポリオレフィン業界が必死で取り組む不況カルテルや構造改善を説明した。この中で大野さんは、

『ポリオレフィン業界は拡販ができる時代はよかったが、不況に入ると加工業界は原料メーカーの代理戦争をやっているようなものだ。加工業者と原料メーカーは甘えの構造というか、融着の構造となり、近年では赤字のキャッチボールをやり、泥沼状況にある。この体質を何とか改善しようとポリオレフィン工業組合は昭和57年から構造改善事業と取り組み、初年度は70台の成形機を廃棄処分し、続いて転廃業の指導を進めていくことにした』と血みどろの苦境脱出ぶりを紹介した。

部品業界は精速安楽美が新課題

続いて武藤副理事長（武藤合成社長）が工業



懇親会に先だち大野、武藤両副理事長の講話を聞く組合員

部品業界の近況について

『最近、業界で“精速安楽美”といわれる。精は精度の意味で、近ごろでは百分の1ミリで合格、不合格が問われ、手加工では限界に来ている。プラスチックの工業部品加工は精密工業の分野に入っている。速は納期の早さ、安はコストダウンで、いずれも厳しく要求されるばかり。楽と美は、成形のカラフル化で、とくに自動車関係では売れるか売れないかは着色次第だといわれ、色合わせにシビアな要求が出され、コスト高になっている現状である』などと、当面する工業部品業界の問題点を説明した。

活気あふれるソウル市街

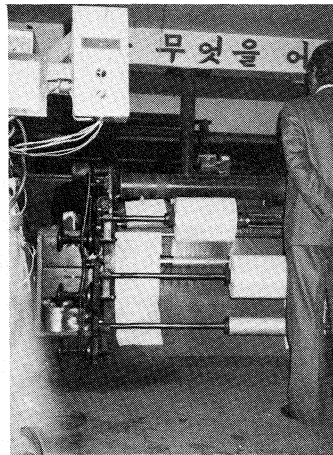
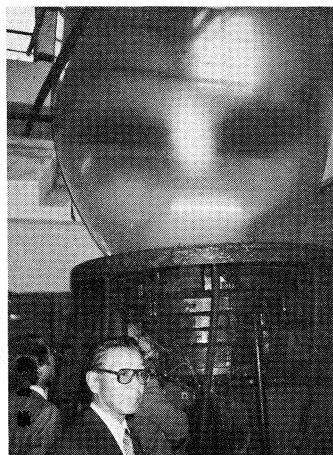
工組から韓国研修 国産品豊富に出回る 親睦旅行団を派遣

当工業組合は、韓国の経済事情と市場を視察するため『韓国訪問・研修と親睦旅行』を実施した。旅行団は大野繁俊副理事長を団長とし、武藤昭三副理事長ら工組及び関係者16人で編成した。一行は11月20日午前10時15分名古屋空港から出発、3泊4日間のスケジュールで、相続く国際事件にもめげず、オリンピック開催に向け国をあげて近代化と取り組む韓国を訪ねた。

名古屋空港から韓国の首都ソウルまではわずか1時間45分。このため第1日目の昼にはソウル市へ到着、一行はそろって市場調査と景福宮（27代500年も続いた朝鮮王朝の正宮）や国立中央博物館などの市内観光を行った。現在のソウルは人口800万人、首都圏を含めると900万人を越える一大メトロポリスを形成している。日本と違って地震がないことから60階、70階と



← 栄枯
盛衰の歴史を宿す
景福宮の前で一行
は記念撮影する
✓ 日信
化学工業のフィルム工場
を見学する



いう高層ビルが建ち並ぶ。商店の店頭には日本と同じ様なものが出ており、質はともかく量的には豊富といえた。価格は生活必需品、大衆品は安い、酒、ガソリンをはじめ趣味、嗜好品は高く、庶民の消費や経済力はまだまだこれからようだった。とくに、プラスチック製品は、安い原材料で豊富な労働力で量産し始めており、造り出される商品はかつての繊維製品のようにわが国へも送り出されてくることが予測できた。

第2日、第3日は二班に分かれ、一班は日信化学工業（フィルムなど包装材メーカー）などの工場を視察した。二班は、北鮮の脅威にさらされている板門店、民俗村などソウル近郊各地を訪ねた。第4日は自由行動のあと午後帰岐。



日信化学工業の新商品案内パンフレット

新しいあっ旋商品 冷却回路の強力洗浄機

工業組合では組合員企業に必要な商品や機器をあっ旋しております。今回のあっ旋商品は、すべての冷却回路をベストにクリーニングする洗浄機『モールドクリーン』です。



製造元は大和熱学（名古屋市）発売元は第一実業（名古屋市）で、洗浄液は中央化学（岐阜市）で、あっ旋価格は26万円（市販価格32万円）。

用途はプラスチック成形機の金型冷却水や配管回路の洗浄、水冷式エアコンの凝縮器の冷却水回路の洗浄、各種ボイラーや水路の洗浄などです。DC1型とDC2型の2機種あり、大きさは650DX380WX540Hミリで、特長は①軽量で取り扱いやすく②高圧、高流量の高性能のポンプを使用③水路洗浄用に開発された特殊洗浄液を使用するため短時間洗浄ができる一など。

ポリエチレン
スミカセン®
エチレン酢酸ビニル共重合樹脂
エバテート®
ポリプロピレン
住友ノーブレン®
ポリスチレン樹脂
エスブライト

塩化ビニル樹脂
スミリット®
メタクリルシート
スミペックス®
メタクリル樹脂
スミペックス-B®
高密度ポリエチレン
スミカセンハード

熱可塑性エラストマー
住友®TPE
合成ゴムSBR
住友®SBR
合成ゴムEPR
エスプレン®
エチレン酢酸ビニル
塩化ビニル共重合樹脂
スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

関工業団地 分譲受け

交通の要所に緑の工場づくり

工業組合の会員企業で共同購入して進出しては……

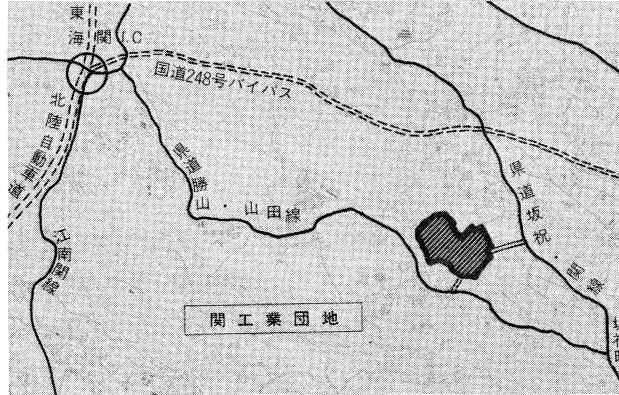
岐阜県土地開発公社が関市の南部に造成している『関工業団地』の工場進出申し込み受け付けが始まっている。岐阜県が県三次総合計画にもとずき、内陸型先端技術産業の誘致を計画している期待の工業団地で、用地造成が半数を終わり分譲の受け付けを開始したもの。分譲予定価格が比較的安く抑えられていることもあって早くも10数社から引き合いがきているという。当工業組合員の中にも分譲希望する企業が出ており、1区画を数社で共同購入して進出する案も出ている。

造成終了は昭和60年

この関工業団地は、関市南部の迫間、西田原、大杉の三地区にまたがる山林で、国道21号線、41号線まで約3.5キロ、昭和60年末に一部供用開始する東海北陸自動車道の関インタチェンジまで約6キロ、国道248号線まで約3キロという道路事情に恵まれた地点にある。

造成が急ピッチに進む工場用地は、58.95ヘクタール、分譲面積は4.027ヘクタール。これを17区画に分けるが、それぞれの区画は進出工場の規模などを考慮して4,440平方メートルから81,850平方メートルのものまで大小さまざまにしている。

電力は中電の最寄の変電所・送電線から供給
工業用水は日量2,800トンを予定し、排水は個別処理後に近隣の河川へ放流する。



恵まれた交通の要所に造成計画が進む関工業団地の見取り図

工場用地の造成が全部終わるのは昭和60年で総事業費は約80億円を要するという。岐阜県では、団地が関市南部に広がる丘陵地帯の一角にあることから、自然との調和の中で『緑の中に点在する工場群』をめざして開発する計画。

価格は3.3平方メートル6万円前後

進出企業は電気機器、一般機械、金属製品など内陸型の先端産業にしぼる方針。分譲価格は3.3平方メートル当たり6万円前後の予定。

○成形加工機の新規参入相次ぐ○

OAブームを裏で支えるプラスチック加工機への新規参入企業が相次いでいる。産業用ロボットやNC機械の大手、ファナックが米国からの技術導入による進出を表明、大隈鉄工所、ジャパックスなどの工作機械メーカーも進出の機会をうかがっている。

現在、プラスチック成形加工機を生産しているのは20社であるが『材料革命の波に乗って金属からプラスチックにどんどん切り替わる』見通しだけに、新規参入を狙う機械メーカーはなお増えそうだ。

○厚生省がダイオキシンを追及○

厚生省は、ごみ焼却場から猛毒のダイオキシンや乾電池が原因とみられる高濃度の水銀が検出されるなど、最近、新たな公害源の発生が報告されているため、有害物質を含む廃棄物の処理対策に乗り出す方針を決めた。

このうちダイオキシンは松山市営清掃工場から極微量（1千億分の1～百億分の1ppm）が検出されたもの。一部の新聞ではプラスチックが原因と報道されたが、現在までにプラスチ

ックの燃焼試験でダイオキシンは検出されていない。このため厚生省の設置する専門家会議の調査結果が待たれる。

○プラコンテナのJIS規格化○

青果物用プラスチック製通い容器（プラスチック製コンテナ）のJIS規格が、来年3月から制定、実施されることになった。

すでに通産省工業技術院は、物流標準化推進の一環として同通い容器にかんするJIS規格原案を作成しており、来年3月からの実施に万全の体制を整えている。農林水産省では、実施によって青果物の流通の省力化やコストダウンが図れると歓迎している。

○高吸水樹脂の用途さらに拡大○

自重の数百倍から千倍の水を吸収、優れた保水性を持つ『高吸水性樹脂』は、生理用品や使い捨ておしめなどの分野を中心に着実に市場を広げている。最近では高機能樹脂の一つとして用途開発が進められ、特殊ほうたい、ベットパッド、靴中敷、コーティング材、土壌改良、防火用、なっ染湖、スラッジの固化、建築、建材分野、工業用フィルターなど広まる一途。

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式會社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）
電話（052）581-1581代

成功する後継者
づくり『十戒』

つらくてもグチこぼさぬ

企業経営は“人”そのものによって左右されると言っても言い過ぎはない。したがって創業者にとって、二代目、三代目と、いかに優秀な後継者を育てるかが大切な仕事の一つである。次は『労働と経営・11月号』に紹介されていた荒和雄中小企業診断士が成功する後継者づくりと題して述べている『現役社長によ後継者づくりへの十戒』で、その要点を抜粋してみた。

第一戒 後継者たる息子の前では、どんなにつらくてもグチをこぼさぬこと

事業経営者が受けるストレスは数多いが、ストレスに負け、つい弱気になって後継者たる息子の前で「俺はもう疲れた。この商売も俺一代限り」とグチをこぼすことは厳に避けたい。

第二戒 タテマエよりホンネで勝負すること
後継者選びで「社の内外から実力者を起用する」と建前論をはく人がいるが、妙に建前論にとられることなく、タイミングを見て自分の息子に後継者を委せたいという本音を打ち出し社の内外のコンセンサスを得ることが大切。

第三戒 個人の財産と企業の資産とをバトン・タッチ前に明確に分離すること

中小企業経営の特性は、個人の財産と企業の資産とがきわめて密接ある関係にあり、混同化していることが多い。後継者へバトン・タッチに当ってはこの明確な分離を行い、後継者が安心して経営権を行使できるように配慮する。

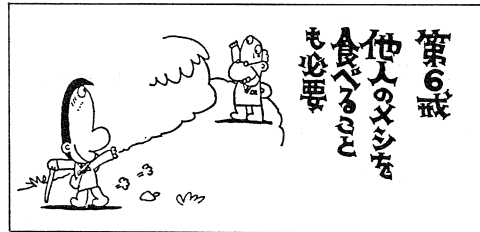
第四戒 バトンタッチをしたら相談されるまで口を出さないこと

第一線を退いたら、例え親子の関係であれ、後継者のやることなすこと口を狭さまいで、大局的な見地から眺めていることが大切。

第五戒 新しい番頭やスタッフづくりに協力すること

一度に経営陣が総退陣することで経営活動に大きな支障を来すと考えた場合は、徐々に後継者がやり易い陣容に番頭やスタッフを入れ替えるのを手助けることも大切な仕事である。

第六戒 修業のためには他人のメシを食べることも必要であることを説くこと



第七戒 手作り教育のメリットは無視しない
他社修業型と並んで自社内で後継者づくりをするのも効用がある。そのメリットの最大のもは現役社長である親父が、文字通り“背中”で示す”こと”によって教育の範をたれるべきだ。

第八戒 後継者たるものは、自分とは別の人格を持っていることを周囲に認めさせること

「自分だったらこうする」と絶えず自分本位で物言を考え、行動をすると後継者との間に摩擦が生じ、逆に後継者は育たなくなる。

第九戒 後継者教育は、日常生活の中で行え
経営のバランス感覚や若者らしい情報の高感度、安定した情緒などすべて身心の健康より発生するので、後継者たるものまず日常生活を律し、健康管理につとめる必要がある。

第十戒 後継者づくりに王道はない。自ら苦しんでその道を発見すること

デザインのすすめ
岐阜県プラスチックデザイン協会

デザインは材料の選択から

プラスチック製品のデザインは、まず製品の機能に合致し、その上、使用材料にも、成形加工法にも適していることが重要である。

そこで、まずはじめにその製品に要求されるすべての必要条件を拾い出し、品質展開表を作成しておかなければならない。

その主たる内容は、機能面、物性面、感性面、コスト面、生産面、市場面、使用環境面、組立・施工面であるが、しかも可能なかぎり、その目標品質を具体的数値で出しておくことが大切である。これは設計途中または完成後の製品評価を行う上で、どうしても必要なこととなる。

そして、要求品質と樹脂特性を照合し、成形法と樹脂の選択が行われるが、シェル化学における射出成形品での失敗統計調査では、失敗総数のうち23%が材料選択の誤り、9%が添加剤選択の誤りで、失敗のなんと82%が誤った材料選択にあったと報告されている。

たしかに、これまでのプラスチック製品の中には、コストダウンと、近代感覚の美しい外観

を得ることを最大の目的として使用し、平凡な低い性能しか必要としなかったものも多くあったようだが、今日のプラスチック成形品には、複雑で高い性能が要求され、とくに耐久性に重点がおかれる傾向が強くなって、材料選択の困難さは一段と増加している。

具体的には次のような項目が原料に対する条件としてあげられるようだ。

- ①使用環境の温度変化に耐えるか否か
- ②接触する物質への耐性（水・溶剤・油・薬品等）
- ③太陽光の影響の有無
- ④衝撃強度の度合い
- ⑤使用時の負荷への耐性
- ⑥必要とされる寸法精度
- ⑦食品衛生上や使用上の安全性
- ⑧仕上りと外観の満足度
- ⑨断熱や電気絶縁性の度合い
- ⑩光学特性
- ⑪曲げ強度
- ⑫耐アーク性
- ⑬耐炎
- ⑭菌抵抗性
- ⑮経済性（コスト）
- ⑯その他

デザイン（製品設計）の高レベル化が、こうした材料特性や製法のもつ利点を十分に利用し思いきった考えを設計に導入するときに生まれ、単なるコストメリットや、外観の美しさだけではない、機能面の特長も生まれ、はじめてプラスチック材料を使うメリットとオリジナリティーがそこに現われてくる。

（岐阜県工業技術センター・技術振興部）

出光

の石油化学製品

<p>◎取扱品目</p> <p>ポリスチレン</p> <p>高圧ポリエチレン</p>	<p>中低圧ポリエチレン</p> <p>ポリプロピレン</p> <p>カルブ®</p> <p>ポリカーボネート</p>
--	---

出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎052-231-8611

下請一筋に地道な経営を進める

加藤プラスチック



加藤雄一社長

新年の組合員訪問は岐栄プラスチック協同組合の理事長に就任した加藤雄一さんが経営する加藤プラスチック製作所（有限会社、資本金200万円、従業員5人）を訪ねた。昨

年夏、急死された西垣隆夫さん（羽島市足近、西垣製作所）の後任として理事長に就任した。といっても西垣さんの前任理事長として3期6年間も勤めているので、返り咲きといえる。

この岐栄プラスチック協組は、いまさら紹介するまでもないが岐阜プラスチック工業の下請企業の集り。設立したのは昭和44年で、それ以前は岐栄会（昭和40年に誕生）と呼んだが、今日でも岐栄会と呼ぶ人は多い。

岐栄協の最大の希望は共同受注

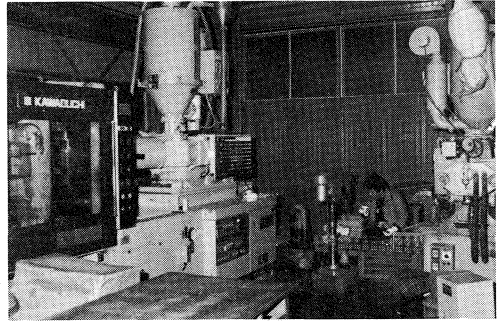
加藤さんは岐栄会時代から参加している人で『最初は親睦会でスタートしたが、今日では事務所をもち、工場見学、見本市視察や従業員福祉事業はもちろん、副資材の共同購入まで行う組合になった』と話す。組合員は射出成形を主に押出、中空、それに印刷にいたる28社もあり、工業組合のミニ組合ともいえる業種が集っている。長年の活動をふりかえって自慢できることは…と加藤さんに水を向けると『岐阜さんからトレビアンやノーブルシリーズを全量下請受注し、ヒット商品の蔭の立役者になった』

ことだと胸を張る。

さらに組合の将来は…とたずねると、現在、個々の企業ごとに受注しているのをまとめ、共同受注することが最大の望みだという。それには組合員の協同意識の高まりと設備や技術のレベルアップと取り組まねばならぬので、今後、上部団体の工業組合の一層の協力を抑ぎたいと話している。

成形作業自動化と増設を新計画

加藤さんの工場は長良川左岸の提防沿い、岐阜市鏡島。ひと昔前までは織物産地で知られた所だが、いまは住宅街となり織布工場は鉄工所などへと変わり、織機の音はあまり聞えてこない。加藤さんの家も織布工場だったが、昭和33年に岐阜プラへ就職した弟さんの手引きでプラ



スチック成形へ転業、いらい下請一筋に地道な企業経営を続けてきた。

昨年9月には織布工場を転用した木造の成形工場ともおさらば、鉄骨の工場を建設（写真）、現在、機械を稼動しながら仕上げ工事を急いでいるところ。成形機は20オンスと5オンスの2台。そして新しく取り組むことは20オンスの増設と成形作業の自動化だと話していた。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

あけまして おめでとうございます

昨年は『景気回復の年』といわれながら最後まで横ばいに終始してしまいました。迎えた昭和59年こそ、プラスチック業界の景気回復、不況脱出の年でありますようにお祈りします。

この新年も、組合員の皆さんから一層親しんでいただけるように事務局はがんばります。

□新春2月頃に組合員の親睦旅行□

昨年12月に開きました『忘年懇親会』には多数で参加いただきました。このため『新年懇親会』は取り止めさせていただきますが、その代りとして『組合員親睦旅行』（2月上旬から3月上旬ごろまで）を予定いたしておりますが、一年で一番寒い時季であり行き先をどこに決めるか迷っています。どうか組合員の皆様よりご希望のところがあれば事務局へ遠慮なくお申し出下さるようお願いいたします。

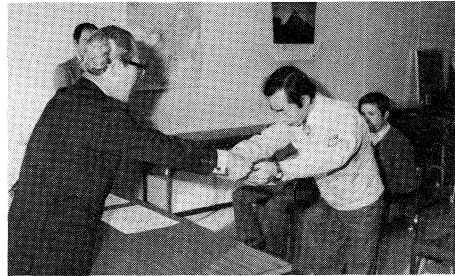
□5月に大阪ジャパンプラへ見学会□

『ジャパンプラス大阪'84ー第10回日本プラスチック・ゴム見本市』は、今年5月23日から大阪市港区の国際見本市会場で開催されます。出品企業は230社を上回って、前回の東京'82と同規模の見本市が企画されています。

当工業組合では会期中に特別バスを仕立てて見本市見学会を行う予定です。ご期待ください。

□新技能士誕生、一級は井藤正司さん□

58年度の射出成形技能検定合格者がこのほど決定、12月13日、組合事務局で大松理事長か



検定証を受ける井藤さん

ら検定合格証書と技能士章、技能士バッジなどが手渡された。今年の検定合格者は一級が井藤正司さん（武藤合成勤務）また二級は上野喜久雄さん（ウエノプラスチック工業社長）服部敬三さん（名古屋三光合成樹脂工業勤務）でした。

岐阜県のプラスチック 1984 57号

昭和59年1月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

（岐阜産業会館4階）

電話 (0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC NOVATEC-L**

高圧ポリエチレン



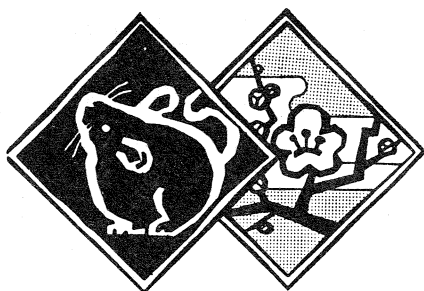
三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)

謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました
本年も何卒よろしくお願いたします
昭和五十九年 元旦

岐阜県プラスチック
工業組合役員一同



岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F)
TEL <0582> 65-2233 (代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中宇州崎
TEL <0582> 46-1313 (代)

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役 児玉庄一

岐阜県安八郡神戸町末守377の1
TEL <058427> 4141番(代表)

品質と技術の工業部品専門メーカー

武藤合成株式会社

代表取締役 武藤昭三

本社工場 各務原市蘇原村雨町3の46
TEL <0583> 82-4361 (代)

合資会社

田中化学工業所

代表取締役 田中弘一

本社工場 関市小屋名520
TEL <05752> 8-2077

ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL<0582>45-5528(代)〒500
東京営業所 東京都中央区新富1丁目5番12号
TEL<03>551-6300〒104

大垣プラスチック 工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
TEL<0584>81-1347(代)
名古屋営業所 名古屋市東区代官町24
TEL<052>932-3945(代)

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(大代)

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市上条62-1
TEL<05753>3-1888

名古屋三光合成樹脂工業株式会社

岐阜工場

取締役工場長 米谷元則

名古屋市南区鳥栖町2丁目93番地
TEL<052>822-1325(代)
岐阜工場 岐阜県安八郡安八町森部2454の1
TEL<058464>代表 3388番

日本工芸株式会社

代表取締役 加藤二郎

関市曙町16番地
TEL <05752> 2-0328

関化成工業有限会社

代表取締役 林 光夫

本社 関市東町4の9の1
TEL<05752>2-1545(代)

工場 関市ひかり町
TEL<05752>2-4904

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

本社 岐阜市長森岩地465の1
TEL<0582>45-8848
本社工場 岐阜市長森岩地清水145
TEL<0582>46-2541



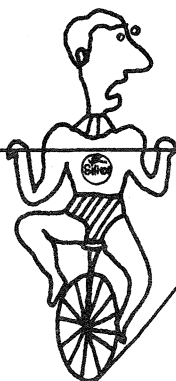
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら
ではの、離れ技。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



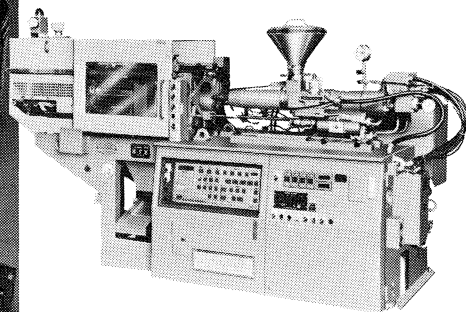
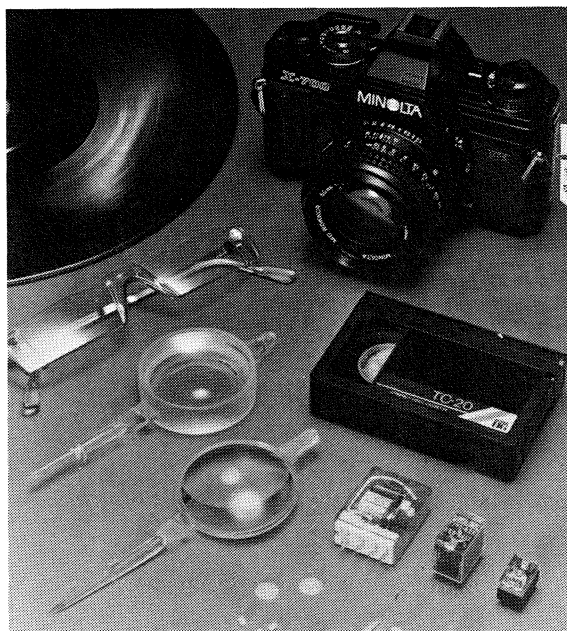
信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

「精密産業機械」の新時代を確立する日精樹脂。
 すでに経営の合理化に組み入れられた射出成形機群。



NISSEI 時代を射る
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
 営業所 東京 ☎ (03) 357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
 名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
 出張所 全国24ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所(21ヶ国)
 岐阜出張所 ☎500 岐阜県岐阜市西御寺屋敷3-40西ビル ☎ (0582) 72-5952

TOSHIBA **東芝機械株式会社**

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
 名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
 化工機課 TEL <052> 561-8341



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
 名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
 TEL <052> 582-5071

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成コム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(062)571-1231

ゆたかな生活環境をクリエイト

発見と発明

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を...



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

ゴモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮